

<報道提供>

令和3年7月20日
危機報道官
電話 054-221-2316

(件名) 熱海伊豆山地区の土石流の発生について (第27報)

(7月20日 17時30分現在)

(静岡県災害対策本部)

1 概況

7月3日、熱海市伊豆山地区において発生した土石流は、逢初川の源頭部の標高約390m地点(海岸から約2km上流)から、逢初川を流下した。土石流により被災した範囲は、延長約1km、最大幅約120mにわたる。

2 県災害対策本部の活動状況

- 3日12:00 県災害対策本部を設置
自衛隊に派遣要請
13:30 消防庁に緊急消防援助隊の出動要請
15:30 災害救助法の適用を公示
9日 被災者生活再建支援法の適用を公示

3 人的・物的被害の状況

(1) 人的被害

(※)「行方不明者」「死者」の区分名は、「消防庁災害報告取扱要領」による区分)

行方不明者：9名

死者：19名 (※1)

中等症：3名

その他：25名

避難者：351名 (※2)

・金城館179名

・ウオミサキホテル172名

(※1) 本日、1名が発見され死亡を確認。氏名等は不明。

(※2) 新型コロナワクチン接種の希望者を、接種会場(順天堂大学医学部附属静岡病院)まで県が用意した送迎バスで搬送

(2) 物的被害

被害棟数：131棟（128世帯、216名）

4 ライフライン等の状況

(1) 水道

区 分	件 数
令和3年7月16日までに通水した件数	804件
今後復旧が見込まれる件数	2件
今後の復旧について所有者と協議が必要な件数	70件
復旧不能件数	198件
合計	1,074件

(7月11日にすべての簡易水槽は撤去、給水パックでの供給に切り替え)

(2) 電気、通信、ガス

被災家屋以外は復旧済

○道路

路 線	区 間	規 制 状 況
国道135号	熱海市東海岸町（ビーチライン入口）～ 神奈川県境(門川交差点)	全面通行止（土砂流出）
熱海ビーチライン	全線	・7/14 12:00からは、 国道135号の通行規制が解除されるまでの間、 一般車両も対象に無料開放
伊豆スカイライン	全線	・7/14 6:00から、 国道135号の通行規制が解除されるまでの間、 一般車両も対象に無料開放

○路線バス

路線	区間	規制状況
東海バス 熱海駅～伊豆山・ 湯河原駅線	伊豆山～湯河原駅 熱海駅～伊豆山	・伊豆山～湯河原駅は 運行再開(7/15から) ・熱海駅～伊豆山は当 面の間運休
東海バス 七尾原循環	熱海ビーチライン経由 (臨時運行)	・運行再開(7/14午後 から) ・「折越」バス停を臨時 「伊豆山小学校(折 越)」バス停として乗 車・降車の取り扱い開 始。本来の「伊豆山小 学校」バス停は経由せ ず(7/20から) ・臨時伊豆山小学校か ら春日町の間は両バス 停を除き乗車・降車不 可 ・桃山～伊豆山小学校 間は当面の間運休
東海バス 紅葉ヶ丘～郵便 局・熱海駅～伊豆 山循環	熱海駅～逢初橋・小学 校入口・伊豆山神社前 ～熱海駅	・当面の間、紅葉ヶ丘 ～熱海郵便局～熱海駅 間のみ運行
東海バス 熱海駅～伊豆山循 環～紅葉ヶ丘・ひ ばりヶ丘線	熱海駅～伊豆山神社 前・小学校入口・逢初 橋～熱海駅	・当面の間、熱海駅～ 咲見町～紅葉ヶ丘/ひ ばりヶ丘間のみ運行

5 主な生活再建支援

○被災者の住宅確保

公営住宅等 77戸
民間住宅 60戸 計137戸

7月15日に住宅相談窓口を熱海市役所に開設

6 県及び市町の職員派遣状況

住家被害認定調査、罹災証明交付、避難者の健康管理の支援等のため、熱海市に対して県職員及び県内市町職員を以下のとおり派遣。

県 19人

市町 23人 (12市町) 計42人

7 関係機関の派遣状況

○自衛隊

活動隊	活動人数	備考
陸上自衛隊	油圧グラップル1台 油圧ショベル2台 バケットローダー1台 資材運搬車2台 小型ショベルドーザー10台 小型グラップル2台	新幹線北側上流部にて活動
	2 隊 83名	新幹線北側上流部の住居位置にて集中的に活動
	1 隊 102名	新幹線北側下流部の住居位置にて集中的に活動
	1 隊 29名 グラップル 1 台	逢初橋一帯で重機を活用しつつ活動中（警察共同）
	その他 103名	浄水管理センターにて部隊の活動を統制及び支援
	ドローン 1	ドローン7:00～17:00 現場上空を映像伝送
小計	317名	
航空自衛隊	0名	入間・浜松基地等で待機
合計	317名	

○消防

消防機関の活動概況

区分	活動隊	活動人数	備考
県内	熱海市消防本部	85名	被災現場等で活動中
	熱海市消防団	180名	
	静岡市消防局 指揮支援隊	1 隊 6 名	熱海市消防本部で活動中
	静岡県大隊	約45隊 (約160名)	新幹線法面上流で活動
	小計	約431名	
県外	横浜市消防局 統括指揮支援隊 12:00 7次隊へ 交代	1 隊 4 名	静岡県庁で活動中
	群馬県大隊 栃木県大隊 茨城県大隊 岐阜県大隊 7/20長野県大隊 派遣終了	約 80 隊 (約 280 名)	山梨県大隊・長野県大隊 新幹線法面上流で活動 愛知県大隊 新幹線法面上流で活動
	小計	約 284 名	
	合計	約 715 名	

・活動予定

搜索活動 06:00～18:00 各隊活動状況報告 17:30
 関係機関調整会議 18:00 作戦会議 19:00

○海上保安庁

20日 伊東事務室のゴムボートによる搜索

○警察

区分	人数	備考
県警	約110名	県機動隊、管区機動隊、交通部隊等
警察災害派遣隊	約120名	千葉県、大阪府、福井県 情報通信部（東北管区警察局、関東管区警察局、近畿管区警察局、長野県、兵庫県、京都府）
計	約230名	

○その他の関係機関の活動状況

機関名	活動状況
内閣府調査チーム	<ul style="list-style-type: none"> ・ ISUTによる災害対応機関の情報集約支援活動（遠隔対応に移行） ・ 被災者支援等に関する各種調整
法務省矯正局特別機動警備隊	<ul style="list-style-type: none"> ・ 7/18～矯正局特別機動警備隊長以下19名及び車両2台派遣 ・ 7/18～伊豆山地区の搜索活動エリア近辺の交通規制及び立入制限区域の規制などの支援活動
国土交通省中部地方整備局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 照明車2台 源頭部にて夜間稼働、日中待機 ・ 7/3～静岡県庁へリエゾン派遣（7/20：3名対応中） ・ 7/3～静岡県熱海土木事務所へリエゾン派遣（7/20：2名対応中） ・ 7/3～熱海市へリエゾン派遣（7/20：2名対応中） ・ 逢初橋上を使用し行う作業の予定 ○7/21(水)～7/23(金) 逢初川被災護岸応急工事 (橋下流側。橋上から大型土のう設置。国道全幅使用) ○7/22(木) AM 橋梁点検車による逢初橋の点検 (国総研等の現場調査時の助言に基づく点検)
静岡地方气象台	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搜索活動前に気象解説を実施 ・ アメダス臨時観測点「熱海伊豆山」運用
日本赤十字社	7/7～31 ころのケア班3名をホテルに派遣、関係機関と連携し避難者からの相談に対応、避難者のストレス軽減を図る。
DMAT	<ul style="list-style-type: none"> ・ DMAT調整本部（県庁内）、熱海地域DMAT活動拠点本部（熱海保健所内）、DMAT現場指揮所（ホテルリゾーピア熱海第2駐車場）に5チームが参集し活動
DPAT	7/4～20 避難者の精神面での健康管理のため、DPAT（災害派遣精神医療チーム）1隊を派遣
静岡県看護協会災害支援ナース	県との協定（災害時の医療救護活動に関する協定書）に基づき、7月6日から避難所の健康相談対応等を実施

機関名	活動状況
静岡県公認心理師協会	7/20～ 避難者の精神面での健康管理のため、公認心理師を派遣
静岡県建設業協会	<災害応急対策> ・重機による土砂、瓦礫の撤去・運搬（熱海港埋立地へ） ・泥状土砂の固化処理 ・伊豆山港における堆積土の状況調査
林野庁	静岡県林務担当部局への技術支援
環境省	関東地方環境事務所から1名（7/6～7/19常駐、7/20～隔日）、近畿地方環境事務所から2名（7/11～7/17常駐）、熱海市へ派遣対応中（災害廃棄物処理に関する助言）
静岡県産業廃棄物協会	県との協定（地震等大規模災害時における災害廃棄物の処理等に関する協定）に基づき、災害廃棄物の仮置場の運営、運搬・処分等の業務を実施

8 参考（義援金）

機関名	概要
日本赤十字社静岡県支部及び静岡県	（期間） 7月9日～10月31日 （方法） 静岡銀行への振込
社会福祉法人静岡県共同募金会	（期間） 7月8日～10月29日 （方法） ゆうちょ銀行への振込
熱海市	（期間） 7月5日～ （方法） 三島信用金庫への振込、災害支援ふるさと納税、熱海市役所義援金箱